

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第3回川島町古民家利活用検討委員会
開 催 日 時		令和5年9月26日（火）午後2時00分から3時40分
開 催 場 所		旧菅間邸
議 題		(1) 空間別利活用方法の検討 (2) 古民家「お披露目会」の開催について (3) その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	鹿山（日）委員、鹿山（登）委員、小山委員、比嘉委員、喜多川委員、宮前委員、二宮委員、石島委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、江間主幹、木村主査、笛木主事
配 布 資 料		会議次第、資料1
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>（事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明した。なお、会議公開は議事より行うことし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>委員長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。比嘉委員、喜多川委員に願います。</p> <p>（1）空間別利活用方法の検討</p> <p>古民家の活用にあたり、空間別に機能を分けることとし、1階・2階・表庭・裏庭・物置にゾーンを分けて、それぞれの活用方法について意見を求めた。</p> <p>【意見】</p> <p>（1階部分）</p>		

- 公民館アンケートではフリースペースが欲しいとの意見もある。1階については、縁側等も活用し、気軽に足を運べるスペースが良いのでは。
- 炊事場のスペースもあるので、飲食を提供できると良いのでは。来場者が持ち寄っても良いと思う。
- 一挙に整備するのではなく、段階的に整備するのは有効な手法だと考える。
- 子ども食堂等、飲食を提供するスペースを設置するにあたり、キッチンスペースの活用はあったほうが良いか。  
→母屋内にあったほうが良いと思う。ただし、保健所の許可を得るにあたり、調理スペースと一般の席は分ける必要がある。カウンターみたいな形で空間を仕切る必要があるだろう。
- カウンター等で仕切るとしても圧迫感のない形でデザインを検討したい。
- プロジェクターを活用した映写会のようなものはすぐにでも可能。
- 幅広い年代の人が読める本を置いて、持ち寄り図書館のようなものもよいだろう。書斎のスペースが活用できるのでは。
- 学校では1人1台端末を実施している。フリーWi-Fiを設置することで、学習支援も可能では。
- 母屋を活用するにあたり、バリアフリーにする工事が必要だろう。段階的に断熱補強・サッシの入れ替えも実施したほうが良いだろう。

(2階部分)

- 荷物がまだ片付いていない状況だが、今後、専門の業者に依頼するなどして片付けを進めたい。
- 活用にあたり、階段が危険であるため、付け替えや場所の変更も検討すべき。
- 2階については、貸会議室のように活用するのが良いのでは。

(表庭部分)

- 表庭を活用するにあたり、木が多いように感じる。維持にも費用が掛かるため、仕分けしたほうが良いのでは。
- 今後、運営していく中で、地域のものとしていくうえでは、管理ができる範囲で残すのが良いのでは。
- 子どもたちが走り回れる空間を取りつつ、庭園風な部分も残す方向はいかがか。
- 手入れをしやすい低木を残し、庭内の垣根を境に芝生エリアと庭園エリアを分けても良いだろう。

(裏庭部分)

- 樹木については、建物自体に木陰を作っている側面もあるため、最低数を残すべきだろう。雰囲気としてハンモック等が使えると良いのでは。
- 崩れている小屋については、撤去する。
- 井戸については、使用できるかを確認し、残しても良いのでは。

(物置部分)

- 築年数が浅く、隣にトイレさえあればちょっとした外のイベントには使えるのではないか。ただし、水回りが無いため、飲食は難しいだろう。
- 物置の倉庫部分と車庫部分の間の壁はガラス窓を入れるなどし、一体化した空間になると、良い空間になるのでは。
- 周りが住宅街になっているので、ニーズがあるならば農産物直売所みたいなものも良いのでは。
- 農家の方が余って処分してしまうような野菜等を持ち寄れる場になれば。
- 毎日は大変なので、日を決めて朝市のようにできれば良いのでは。

委員長：議論した内容について、一度整理し、次回お示ししたい。

(2) 古民家「お披露目会」の開催について

委員長：現在検討している状況を地域の方々に知ってもらい、地域が主体となるきっかけとなるよう、お披露目する機会を設けたい。

一方的な説明会ではなく、体験してもらいながら知ってもらう機会とし、参加した人とつながりを持つことで、今後、愛着をもって使用・管理してもらう仲間づくりとしたい。

【意見】

- 母屋の床の工事等はお披露目会までに完了するのか。  
→現状のままで、ビニールシートを敷くなど、できる範囲で実施したい。物置部分での実施も考えられるだろう。
- 興味のある人は様々な意見を出してくれるだろう。
- 今後、管理等はだれがやっていくのか。地域を巻き込むのであれば、興味がある人に初めから参画してもらったほうがスムーズなのでは。  
→本検討委員会では、まず方向性を定めようということでスタートした。方向性が定まったら一度この会は閉じて、運営主体も含め、地域を巻き込む会を起すこ

とも検討。そこには最初から巻き込むというイメージが良いのでは。この委員会の下に住民ボランティアを組織するというやり方もある。次の段階として協議していきたい。

- シルバー人材センターで木工細工等を実施している。協力していただき、専門の方にご指導いただけると良いだろう。
- カンナ削り体験は実施可能。削りカスを活用し、焼き芋体験も人を集めるきっかけづくりとして良いのでは。
- お披露目会については、11月12日（日）に開催する方向で準備する。回覧等で周知したい。
- 予算の関係で、2階部分の片付け、裏庭の小屋の撤去、樹木伐採は業者を入れて実施したい。樹木については、会議終了後、現地を確認しながら残すものを選別したい。

(3) その他

事務局：次回の会議日程は調整後に再度連絡する。

4 閉 会

署 名	比 嘉 美 穂
	喜 多 川 真